

第1回小松空港ターミナルビル基本構想検討会議

議事概要

日時：令和7年8月7日（木） 13：30～15：00

場所：石川県庁行政庁舎1110会議室

事務局からの資料説明後、以下の意見交換がなされた。

○空港利用者の利便性向上のために必要な機能強化の内容について

- 国際線エリアが狭隘化しており、旅客機が同時に2便離着陸した場合に相当な混雑が発生していることは大きな問題と認識している。
- C I Qの円滑な業務遂行のために必要な施設を整備していただきたい。
-

○賑わい創出を図るために必要な機能強化の内容について

- 賑わい施設の整備は、費用対効果をきちんと考えていくことが必要。
- イベントに利用できる施設を整備するなど、観光客も地元の人も楽しめる施設にしてほしい。
- 賑わいの創出にあたっては、現在の利用者のニーズを分析し、既存の施設との連携も含めて必要な施設を検討していくべきではないか。
- 空港施設の整備にあたっては、アリーナ構想や防災庁分局の誘致など、未確定な部分があるにせよ整合性を図ることが必要。
- 航空プラザは土日賑わっており、賑わい創出の観点で活用できるのではないか。

○その他

- 建築費の高騰が著しく、動向を注視していくことが必要。
- 人手不足の中で、DXを積極的に取り入れて業務を効率化していくという視点も重要。
- 空港関係者の雇用の確保という観点で、働きやすい職場環境を整備するという視点も必要。
- 防災拠点としての機能強化という視点も必要ではないか。
- 全国的に国内線の収支が厳しい中、機能強化に係る費用負担についてはエアラインから理解を得られる形で整理する必要があるのではないか。
- ビル改築のスケジュール感を整理すべき。

以 上